

2026.04.01

5 1 周年事業計画書

2026年4月1日～2027年3月31日

東明興業株式会社

経営環境と経営目標（51周年）

現在、ロシアによるウクライナへの武力侵攻に加え、アメリカとイスラエルによるイランへの軍事攻撃は、ホルムズ海峡の閉鎖により原油不足となり不安定で不確実な国際情勢が今後も続くことが予想されます。国内では「責任ある積極財政」を掲げる高市総理による景気回復が期待されています。

首都圏では円安によるインバウンド効果、展示会、スポーツイベント等は順調である一方、建設業界は資材価格の高騰と再開発物件の大型化に加え労働時間の短縮と恒久的な人手不足による選別受注が継続されています。一方、CO2削減やサーキュラーエコノミー（循環型経済）における再資源化が重視されています。

このような状況の中、弊社は2026年度下記の事項を重点に活動をして参ります。

品質につきましては、引続き廃プラスチックの分別強化、フラフ燃料、フォーミング抑制剤、ペレット原料への資源化に加え、「軽量物再資源化品」による更なる分別提案を進めて参ります。また、ゲート車とコロBOXによる現場の人手不足、コスト削減を推進します。昨年、名称変更した建築事業部においては従来の改修解体工事から内装工事まで一貫した施工を提供して参ります。内装工事資材置場予定地の拡張および収益基盤の強化に向けて、銀行紹介による解体業者および大手ハウスメーカー指定工事業者に限定し、他社車両の工場受入を開始します。これに伴い、効果の最大化とリスク管理の徹底を図ります。

環境につきましてはSDGs宣言に基づき、車両・重機の燃料に「K-S1」を添加しCO2排出量を削減しています。現場では引き続き太陽光を電源とした、自動小型移動式圧縮機「スマゴ」と自社独自開発圧縮袋「TSB」を活用して軟質系廃プラスチックを1/5～1/3に減容し運搬車両のCO2削減とコスト低減を提案します。近隣に対する粉塵・騒音対策、石綿含有産業廃棄物（レベル3）・水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）・フロン類等の混入防止を強化します。改修・解体につきましても石綿の全量検査の実施と施行から報告まで一連のサービスを提供し環境汚染・環境負荷の低減を実施します。

安全につきましては、引き続き火災防止の対策としてリチウムイオン電池類（二次電池）を専用ボックスで回収し資源化して参ります。また、乾電池類（一次電池）につきましては収集運搬の許可を取得の上、専用ボックスを小型専用車で回収し専門業者へ運搬します。石綿等取扱作業従事者講習、テールゲートリフター特別教育、化学物質管理者、保護具着用管理責任者、解体工事施工技士、職長・安全衛生責任者、一級建築施工管理技士の資格取得、廃掃法、ビジネスマナー教育も実施して参ります。安全衛生委員会の運営強化、解体現場、施工現場、工場パトロールを強化します。又、引続きストレスチェック・インシデントアンケート・メンタルヘルスケアを実施して参ります。

長年継続しております情報開示（搬入量・処分量・保管量・仕様先の実名と排出量・マテリアルフロー・CO2発生/削減量・堆積ゼロ等）を（公財）産業廃棄物処理事業財団の認定を受け情報適正開示施設としての適合証を更新いたしました。2027年度より改正される電子マニフェスト再資源化等の情報記載の運用にも適用して参ります。

新規事業として「特定再生資源屋外保管業」の許可を取得し、資源を供給する製造業に特化して参ります。また「環境と防災」をテーマに異常気象による水害を軽減する治水対策として不溶性土壌改材とALCを活用した製品開発も推進して参ります。

2026年度は、事業構造を高度化し、改修・解体から建築へ、処分から製造へと事業領域を拡張します。高品質・環境・安全を基盤に、持続的成長を遂げる100年企業の実現に向けた組織基盤を構築します。

経営基本方針

“いっしょに守ろう”

きれいな地球・たのしい職場・みんなの利益

- (1)経営の目的・目標(品質評価・環境影響評価・労働安全衛生リスク評価)を戦略的に策定し、コンプライアンス(法令遵守)の厳守と、「品質・環境・安全」の重点事項を実施し、信頼される質の高い経営を実施します。
また、排出事業者が限定した解体業者の収集運搬及び工場の受入メリットの最大化とリスク管理の徹底を図ります。
- (2)適正処理を担保する「産業廃棄物の一連の処理工程」により産業廃棄物処理振興財団の情報適正開示施設として更新しすべての情報を開示し石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び、フロン類の受入検査の徹底、廃プラスチックのマテリアル・ケミカルリサイクルとフラフ燃料化による廃プラスチックのゼロエミッションを推進します。
- (3)近隣地域と調和を図り、工場施設及び改修・解体・内装現場の運用管理を強化し環境負荷を低減します。SDGs宣言に基づき、温室効果ガス(CO₂)を削減する為、重機車両の燃料に「K-S1」を添加し、現場には太陽光で動く自動小型移動式圧縮機「スマゴ」と独自開発した圧縮袋「TSB」を活用し軟質廃プラスチックを1/5~1/3に減容し、運搬車両のCO₂削減とコスト削減を推進します。
- (4)安全衛生委員会では、ISO45001の運用、改修・解体・内装工事、重点現場及び工場夜間パトロールの強化、リチウムイオン電池等(二次電池)の回収システムを強化するとともに乾電池等(一次電池)の収集運搬及び専門業者への直送システムを構築します。引き続き、インシデントアンケート、ストレスチェックに加えメンタルヘルスケアを実施します。
- (5)新しい時代を担う人材育成とセールスドライバー、協力業者の教育、専門業者として特化した技術と長年培ってきたノウハウの伝承とモラル、マナー教育並びに社内外の行事を通してコミュニケーションの充実を図ります。
資源の効率的な利用を目的とした硬質プラスチックとALCの資源化・製品化を推進します。
本年51周年を迎え100年企業を目指す組織を構築します。

